

景気の動き

四 国（地域経済報告 – さくらレポート – ・日本銀行）

項目	7月判断	前回（4月判断）
総括判断	四国地域の景気は、緩やかに持ち直している。	同左
公共投資	持ち直している	同左
設備投資	増加している	高水準で推移している
個人消費	持ち直している	物価上昇の影響を受けつつも、底堅く推移している
住宅投資	弱めの動きとなっている	同左
生産	振れを伴いつつも、弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている
雇用・所得動向	緩やかに改善している	同左

〔日本銀行 2025年7月10日発表〕

全 国（月例経済報告・内閣府）

項目	7月月例	6月月例	
基調判断	景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している。 （先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。）	景気は、緩やかに回復しているが、米国の通商政策等による不透明感がみられる。	
個人消費	消費者マインドの改善に遅れがみられるものの、雇用・所得環境の改善の動きが続く中で、持ち直しの動きがみられる	消費者マインドが弱含んでいるものの、雇用・所得環境の改善の動きが続く中で、持ち直しの動きがみられる	
設備投資	持ち直しの動きがみられる	同左	
住宅建設	おおむね横ばいとなっている	同左	
公共投資	底堅く推移している	同左	
輸出入	輸出	おおむね横ばいとなっている	このところ持ち直しの動きがみられる
	輸入	持ち直しの動きがみられる	このところ持ち直しの動きがみられる
	貿易・サービス収支	赤字となっている	同左
生産	横ばいとなっている	同左	
企業	収益	改善しているが、通商問題が及ぼす影響等に留意する必要がある	同左
	業況判断	おおむね横ばいとなっている	このところおおむね横ばいとなっている
	倒産件数	おおむね横ばいとなっている	同左
雇用情勢	改善の動きがみられる	同左	
物価	国内企業物価	このところ上昇テンポが鈍化している	緩やかに上昇している
	消費者物価	上昇している	同左

〔内閣府 2025年7月29日発表〕